

# OECC 会報

## 第79号 / 2016年12月 特集 今後の環境協力



写真:OECCは、COP22(モロッコ・マラケシュ)において、ジャパン・パビリオンを運営。多くの来館者を迎えました。

= Pick Up =

「多くの途上国では、残念ながら大気汚染、水質汚濁等の環境汚染問題は改善が進んでいない。経済的に豊かになった途上国の国民には、劣悪な大気や水質はもはや受忍できないことであり、環境改善を実現することが国の安定と健全な発展の最重要課題となっていることも珍しくない。」

環境省 関 荘一郎 氏…3p

「国際社会における3つの変化、すなわちSDGs、パリ協定及びTICADを踏まえて、途上国が本当に望んでいることは何か、また我々はどのような理解を持って環境協力をしていくべきか、という観点から、気候変動と廃棄物管理について議論したいと思います。」

(一社)海外環境協力センター 小野川 和延 氏…4P

「適応策のベースとなるべき情報の整備や、それを作成するための人材育成が必要だと思います。特に、気候変動の影響が最初に出てくると思われる農業ですが、多くの途上国は農業国ですからその影響は深刻です。気候変動で一番重要な農業分野に対する援助として何ができるのか、ということもあります。」

(一社)日本UNEP協会 平石 尹彦 氏…5p

「現在、気候変動の動きの中で重要だと思っているのは、金融界が動き出したことです。(中略)その背景には、近年議論が活発な「座礁資産」「投資引きあげ」の動向があります。」

(株)グリーン・パシフィック 山田 和人 氏…9p

「我が国の静脈産業に関わる企業が持つ技術は世界最先端であるし、水と異なって、静脈産業の分野では、産業廃棄物は、ほぼ100%民間企業によって処理され、経営ノウハウも民間に蓄積されている。」

中間貯蔵・環境安全事業(株) 谷津 龍太郎 氏…10p

### 目次(敬称略)

巻頭言 途上国のニーズとOECCへの期待 .....	環境省顧問 関 荘一郎 .....	2
座談会① 「日本の環境協力を考える — 気候変動 —」 .....		4
(一社)日本UNEP協会 理事 平石 尹彦	(公財)地球環境戦略研究機関 森 尚樹	
(公財)地球環境戦略研究機関 D.G.J プレマクマール	(株)グリーン・パシフィック 山田 和人	
(一財)日本環境衛生センター 滝澤 元	(一社)海外環境協力センター 小野川 和延	
日本版静脈産業メジャー実現に向けて .....	中間貯蔵・環境安全事業(株) 代表取締役社長 谷津 龍太郎 .....	10
アフリカへの環境協力推進に向けて ~ TICADVII を見据えて~ .....	環境省地球環境局国際協力室 室長 水谷 好洋 .....	12
JCM スキームによる途上国との Win-Win 関係の構築 .....	(一社)海外環境協力センター 研究員 石浦 和広 .....	14
気候変動長期戦略に関するOECCの提言 .....		15
OECC行事・部会活動等(その71) .....		16

